

# 2025年2月期 第2四半期 決算説明資料



2024年10月8日

Can★Do

(証券コード:2698)

<https://www.cando-web.co.jp>

2024年2月期及び2025年2月期1Q

繰延税金資産にかかる遡及訂正について

当社は、2024年4月9日に開示いたしました「2024年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」及び2024年7月11日に開示いたしました「2025年2月期1Q決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を修正し、適時開示いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありました。

## 記

当社は、2024年2月期に監査法人における財務諸表監査及び内部統制監査により適正意見を得て、有価証券報告書を提出しております。

その後、2024年9月6日に監査法人より本件訂正について申し入れがあり、2024年2月期の当社個別財務諸表の繰延税金資産の回収可能性を検討するために作成している一時差異のスケジューリング表の内容を見直した結果、一部算定誤りが認められ、繰延税金資産を過大に計上していたことが判明したため、これを訂正することといたしました。

# 2024年2月期(通期)連結損益計算書



(単位:百万円、%)

	2024年2月期 (遡及訂正前)		2024年2月期 (遡及訂正後)		金額差異
	金額	率	金額	率	
売上高	80,357	100.0	80,357	100.0	-
売上総利益	29,621	36.9	29,621	36.9	-
営業利益	242	0.3	242	0.3	-
経常利益	296	0.4	296	0.4	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲ 459	▲ 0.6	▲ 1,166	▲ 1.5	▲ 707
一株当たり 当期純利益	▲ 28.74 円		▲ 72.98 円		▲ 44.24
会計期末 店舗数	1,258 店舗		1,258 店舗		-

(※) 繰延税金資産の取り崩し処理により、法人税等調整額が690百万円増加し、親会社株主に帰属する当期純利益が減少しています。

# 2025年2月期1Q連結損益計算書



(単位:百万円、%)

	2025年2月期1Q (遡及訂正前)		2025年2月期1Q (遡及訂正後)		金額差異
	金額	率	金額	率	
売上高	20,920	100.0	20,920	100.0	-
売上総利益	7,846	37.5	7,846	37.5	-
営業利益	311	1.5	311	1.5	-
経常利益	318	1.5	318	1.5	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益	74	0.4	79	0.4	5
一株当たり 四半期純利益	4.66 円		4.98 円		0.32
会計期末 店舗数	1,308 店舗		1,308 店舗		-

(※) 繰延税金資産の取り崩し処理により、法人税等調整額が11百万円増加、減損損失の計上時期変更16百万円で、四半期純利益は増加しています。また、売場のコーナーに展開することが多かったため、開示店舗数に含めていなかったキャンドゥセレクト計40店舗を2024年3月末より店舗数に含めております。

2025年2月期2Q

デリバティブ評価損計上について

当社は、2025年2月期2Qにおける営業外費用の計上について、下記の通りお知らせいたします。

## 記

### 1. 営業外費用の内容

2025年2月期2Qにおいて、営業外費用としてデリバティブ評価損297百万円を計上いたしました。

これは、連結子会社アクシスにおいて、為替リスクヘッジ目的のデリバティブ取引について時価評価したことによるものであります。

これは、為替相場が長らく円安水準に推移していたことから、外貨建て仕入決済についてリスクヘッジをする目的で本取引を



締結いたしました。その後、円安水準から一転して、急激な円高方向へ推移したことで発生した評価上の損失であります。

なお、キャッシュフローに影響を与えるものではありません。

## 2. 業績に与える影響

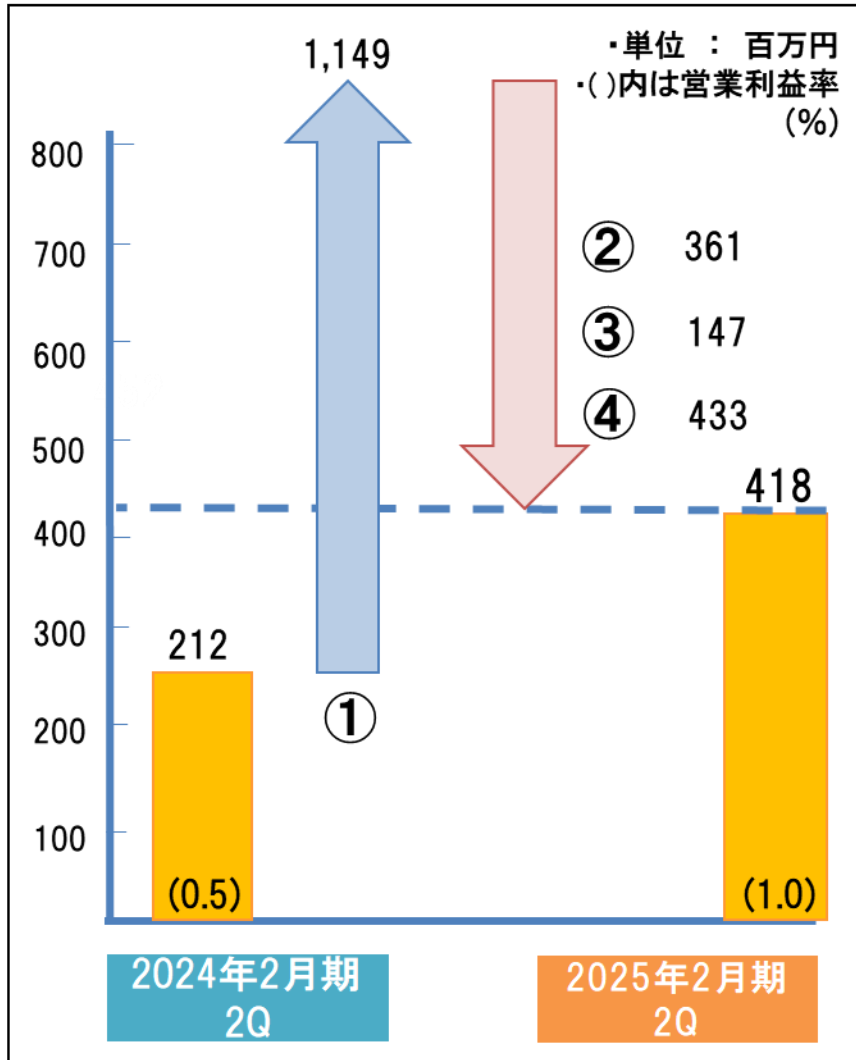
上記の営業外費用につきましては、本日公表の「2025年2月期2Q決算短信」に反映しておりますのでご参照ください。

なお、デリバティブ評価損益につきましては、今後の為替相場の状況により変動いたします。また、毎月の外貨建て仕入決済に使用するため、その時価評価の対象となる残高が減少し、業績への影響度合いは減少していくと見込んでおります。

2025年2月期の通期業績予想につきましては、  
2024年4月9日に公表した予想を修正しておりませんが、  
今後修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

# 2025年2月期2Qの業績について

# 営業利益(増益) 差異分析



## 増加要因

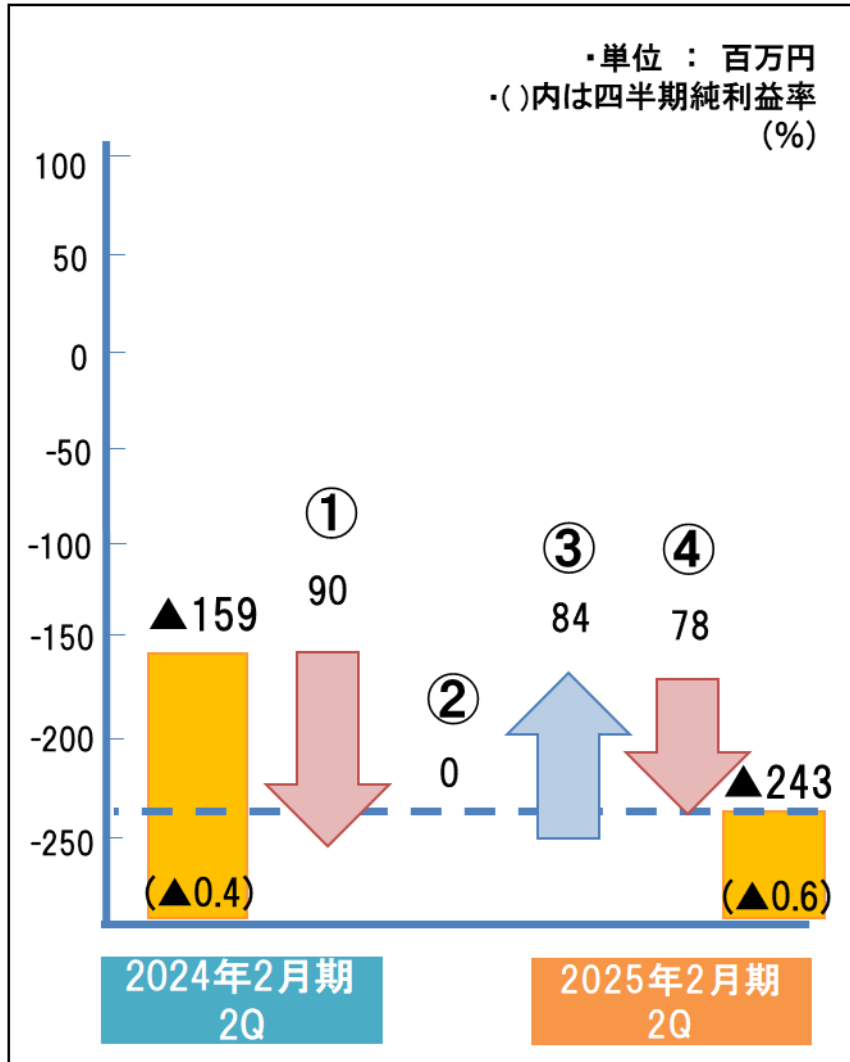
- ① 売上総利益増加による部分  
(売上減×売上総利益率)  
→ 1,149百万円

## 減少要因

- ② 人件費増加による部分  
→ 361百万円
- ③ 地代家賃増加による部分  
→ 147百万円
- ④ その他販管費増加による部分  
→ 433百万円

**206百万円の増加**

# 四半期純利益(減益) 差異分析



## 増加要因

- ② 特別利益増加による部分  
→ 0百万円
- ③ 特別損失減少による部分  
→ 84百万円

## 減少要因

- ① 経常利益減少による部分  
→ 90百万円
- ④ 法人税等増加による部分  
→ 78百万円

**83百万円の減少**

# 連結損益計算書(営業利益以下内訳)

(単位:百万円、%)

	2023年2月期2Q (2021/12-2022/5)		2024年2月期2Q (2023/3-2023/8)		2025年2月期2Q (2024/3-2024/8)		前年 同期比
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	金額	売上高比率	
営業利益	475	1.3	212	0.5	418	1.0	197.3
営業外収益	41	0.1	36	0.1	40	0.1	110.5
営業外費用	2	0.0	9	0.0	① 310	0.7	3,304.3
経常利益	514	1.4	239	0.6	149	0.4	62.3
特別利益	24	0.1	20	0.1	20	0.0	102.5
特別損失	63	0.2	291	0.7	207	0.5	70.9
税引前四半期純利益	475	1.3	▲ 31	▲ 0.1	▲ 36	▲ 0.1	-
法人税等	264	0.7	127	0.3	② 206	0.5	161.4
親会社株主に帰属 する四半期純利益	211	0.6	▲ 159	▲ 0.4	▲ 243	▲ 0.6	-

(※) 決算期変更に伴い、2023年2月期2Qは12～5月、前期及び今期の2Qは3～8月となります。

①はデリバティブ評価損297百万円、②は繰延税金資産の取り崩し等75百万円の計上による影響

プラス与件	マイナス与件
<p data-bbox="285 811 434 871">当 社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節約志向による当社既存店売上高の増加</li> <li>・他価格帯商品のニーズ上昇</li> <li>・外出/お出かけ対応商品への実需増加</li> <li>・酷暑及び防災意識の高まり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員不足の顕在化</li> <li>・インフレによる原材料等の高騰</li> <li>・急激な円高によりデリバティブ評価損計上</li> <li>・台風、豪雨、地震などの店舗への影響</li> </ul>

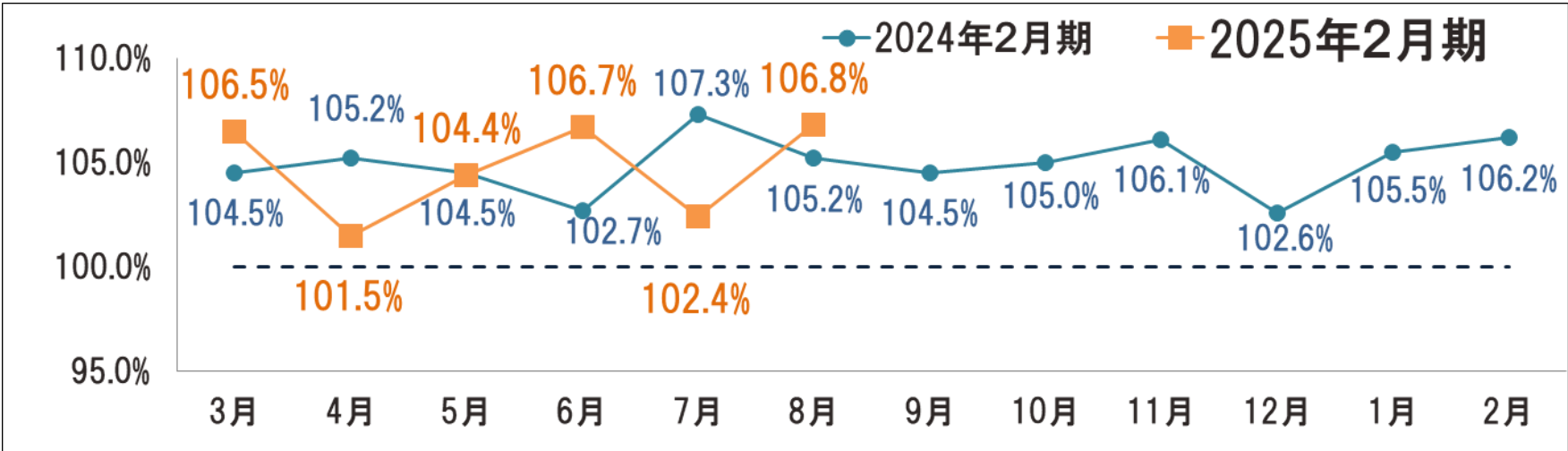
(単位:百万円、%)

	2023年2月期2Q (2021/12-2022/5)		2024年2月期2Q (2023/3-2023/8)		2025年2月期2Q (2024/3-2024/8)		前年 同期比
	金額	率	金額	率	金額	率	
売上高	36,872	100.0	39,536	100.0	41,769	100.0	105.6
売上総利益	14,057	38.1	14,573	36.9	15,723	37.6	107.9
営業利益	475	1.3	212	0.5	418	1.0	197.3
経常利益	514	1.4	239	0.6	149	0.4	62.3
親会社株主に帰属 する四半期純利益	211	0.6	▲ 159	▲ 0.4	▲ 243	▲ 0.6	-
一株当たり 四半期純利益	13.25 円		▲ 9.98 円		▲ 15.20 円		-
会計期末 店舗数	1,214 店舗		1,260 店舗		1,320 店舗		60店舗

(※) 決算期変更に伴い、2023年2月期2Qは12～5月、前期及び今期の2Qは3～8月となります。

(※) 売場のコーナーに展開することが多かったため、開示店舗数に含めていなかったキャンドゥセレクト計40店舗を2024年3月末より店舗数に含めております。



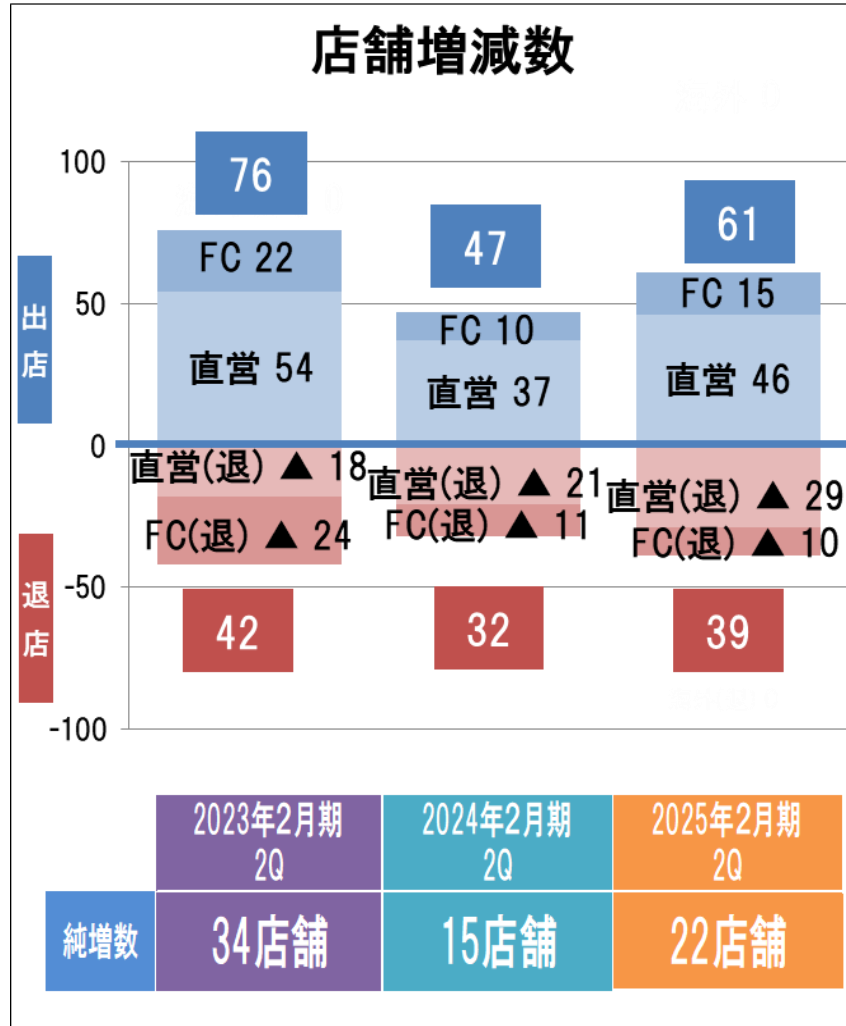


**2025年  
2月期2Q**

- 6~8月 106.1%
- 3~8月 105.3%

- ・インフレ進行に伴う生活防衛意識の高まりとお客さまニーズに沿った趣味趣向品による集客増
- ・外出・イベント・旅行の活性化、インバウンドの復活
- ・酷暑対応及び防災意識の高まりに対応した売場提案

## 出退店数の状況



### 出店・リニューアル

- 新規出店: 61店舗 (計画: 170/通期)  
直営46店舗、FC15店舗  
※概ね計画水準の実績
- 直営リニューアル: 17店舗 (計画: 20/通期)  
※計画水準を大きく上回る実績

### 退店

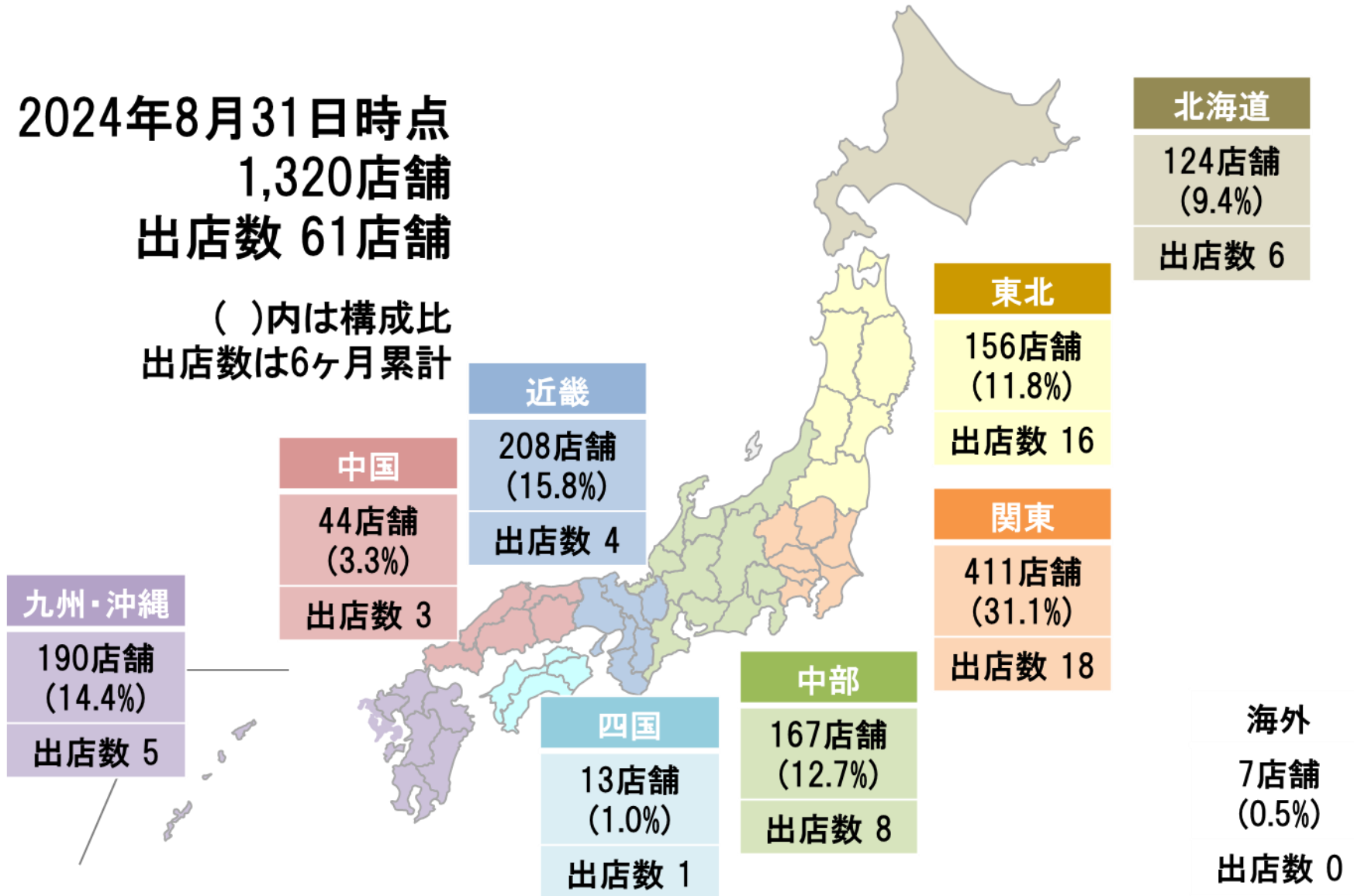
- 39店舗 (計画: 75/通期)  
直営29店舗、FC10店舗  
※概ね計画水準の実績

**1,320店舗** 【増減】直営 +17店舗、  
FC +5店舗、  
海外FC ±0店舗

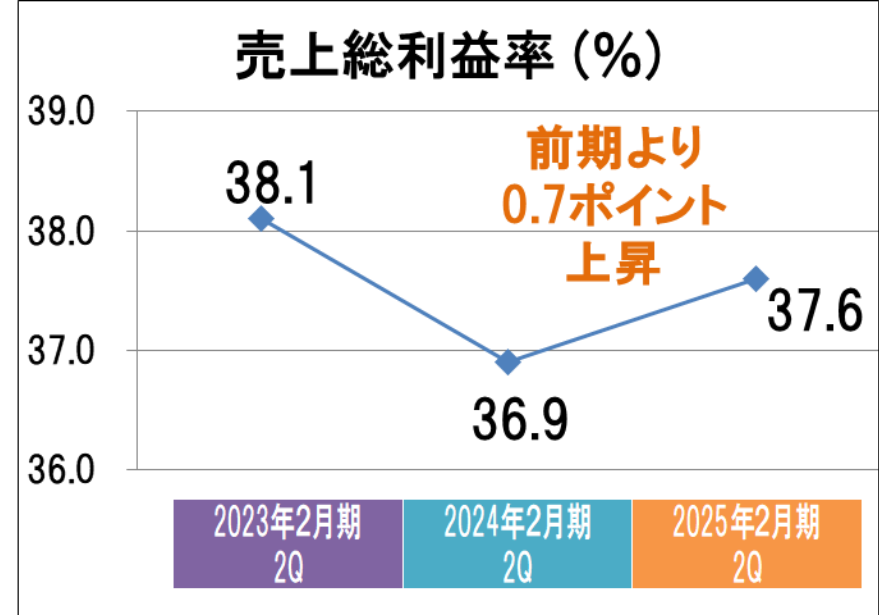
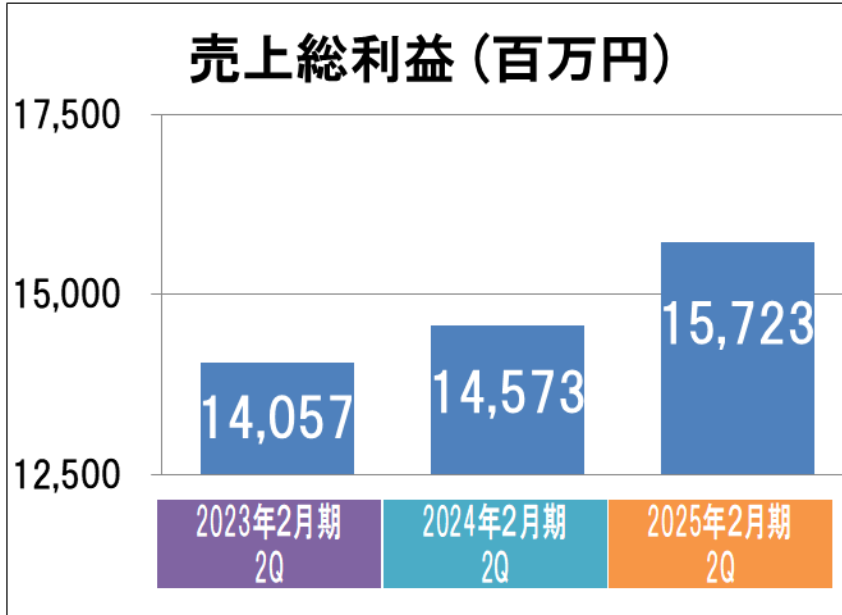
## 地域別出店状況

2024年8月31日時点  
1,320店舗  
出店数 61店舗

( )内は構成比  
出店数は6ヶ月累計



# 売上総利益の内訳

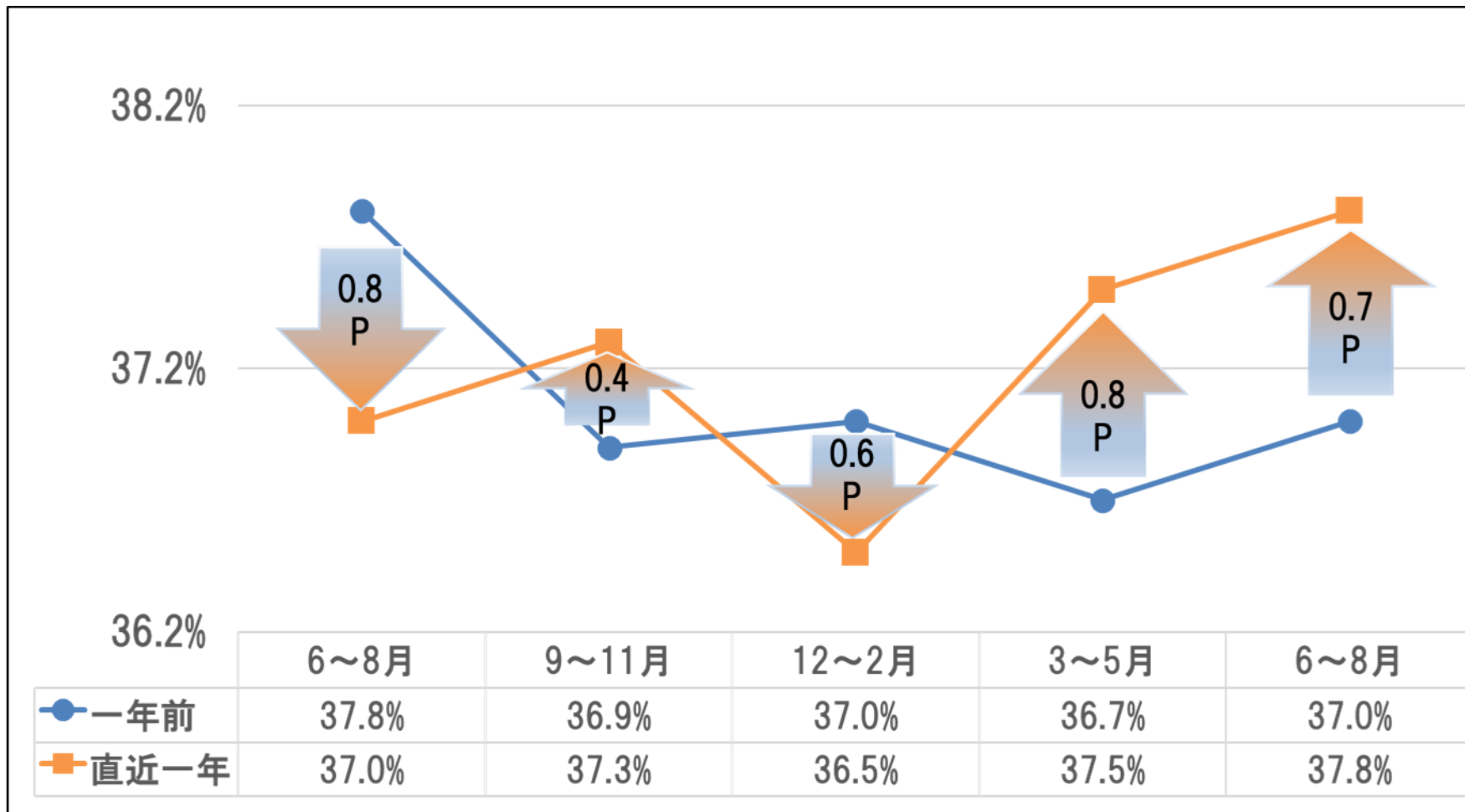


### 売上総利益の変動

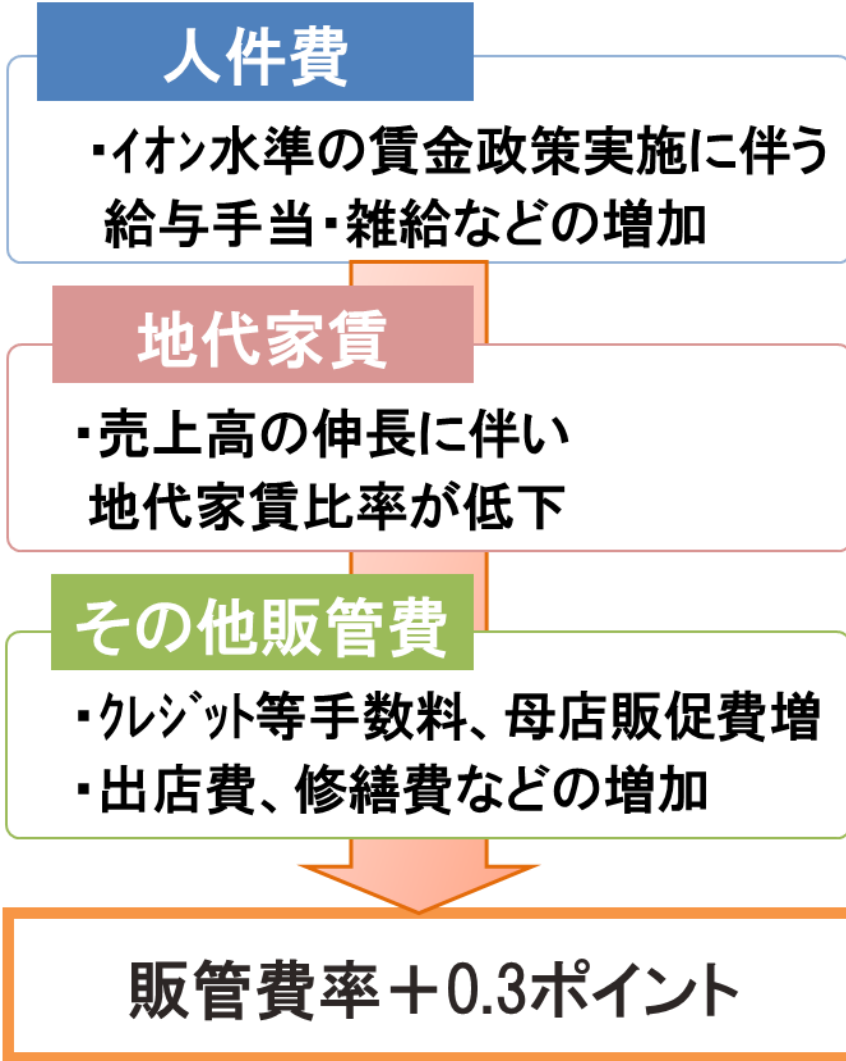
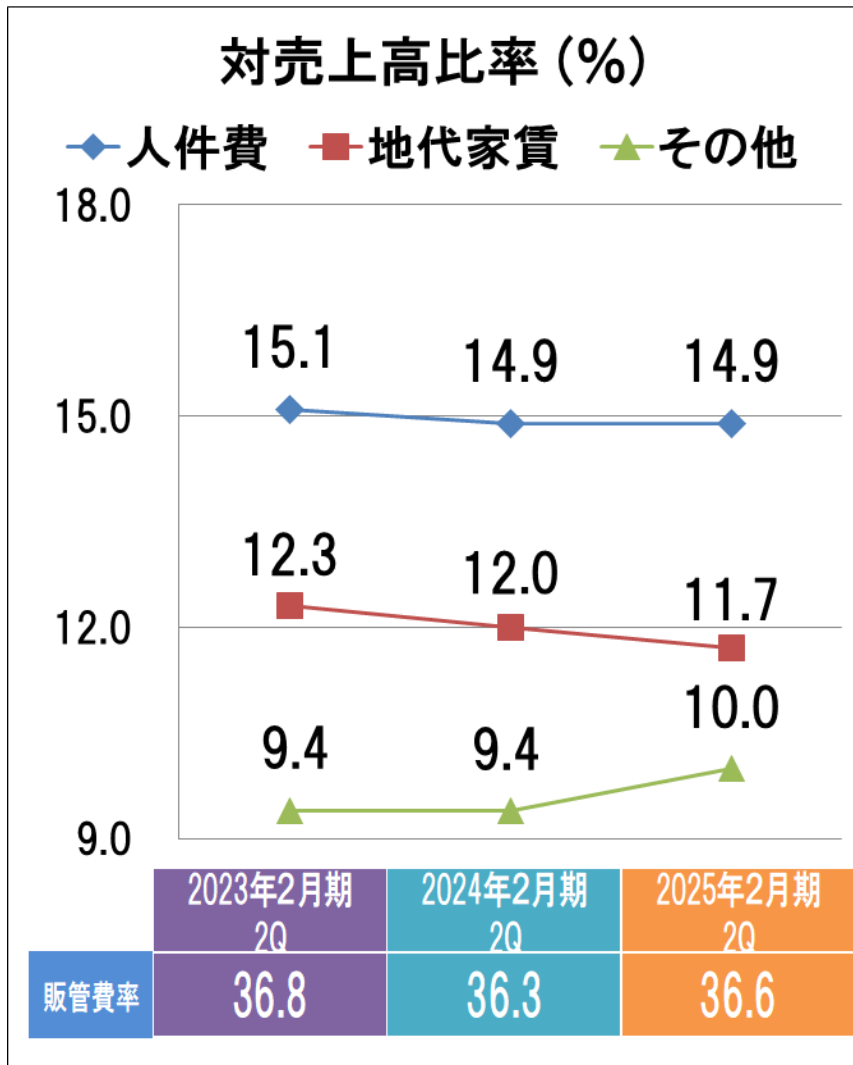
- 100円雑貨の売上高を維持
- 他価格帯商品の売上比率増加

### 売上総利益率の変動

- 原材料の高騰や為替の影響
- 100円商品の原価維持への取り組み
- 付加価値を見直し、他価格帯へ移行



2024年2月期4Qで、積極的な商品入替を前提にした商品廃棄を実施



# 連結貸借対照表の状況

(単位:百万円)	2024年 2月期	2025年 2月期2Q	前年 増減額		2024年 2月期	2025年 2月期2Q	前年 増減額
流動資産合計	15,477	17,798	2,320	流動負債合計	13,900	17,049	3,148
現金及び預金	2,831	3,498	① 666	仕入債務	8,011	10,646	③ 2,634
売上債権・未収入金	3,666	4,874	② 1,207	その他流動負債	5,888	6,402	④ 514
商品	8,338	8,776	437	固定負債合計	4,563	4,571	7
その他流動資産	640	649	8	退職給付に係る負債	2,322	2,379	56
有形固定資産合計	6,366	6,829	463	資産除去債務	1,806	1,783	▲ 23
建物及び構築物	5,223	5,637	414	負ののれん	123	104	▲ 19
その他有形固定資産	1,142	1,191	49	その他固定負債	310	303	▲ 6
無形固定資産合計	283	313	30	負債合計	18,463	21,620	3,156
投資その他の資産合計	7,017	6,978	▲ 39	資本金	3,028	3,028	0
敷金及び保証金	5,673	5,627	▲ 45	資本剰余金	3,103	3,126	22
その他投資その他の資産	1,343	1,350	6	利益剰余金	5,565	5,186	▲ 378
固定資産合計	13,666	14,121	454	自己株式	▲ 1,117	▲ 1,096	21
資産合計	29,143	31,919	2,775	その他の包括利益累計額	100	54	▲ 46
				新株予約権	0	0	0
				純資産合計	10,680	10,298	▲ 381
				負債純資産合計	29,143	31,919	2,775

※対前年増減額が大きな項目について、その主なものを以下に記載

- ① 現金及び預金の増加 666百万円
- ② 未収入金の増加 1,111百万円
- ③ 電子記録債務の増加 2,241百万円(当中間連結会計年度末日が金融機関の休日のため 2,134百万円の期末日満期手形が当中期連結会計年度末日残高に含まれております)
- ④ デリバティブ負債の増加 297百万円

# 設備投資の状況

「ライフスタイル提案型ショップ(New Can★Do)」フォーマットによる新規出店・リニューアルを推進しました。また、生産性向上を図るべく、情報システム関連投資の検討を進めております。

(単位:百万円)

	2024年2月期2Q	2025年2月期2Q	増減
設備投資額	1,033	1,122	89
減価償却費	486	495	8

## ◆主な設備投資内訳

(単位:百万円)

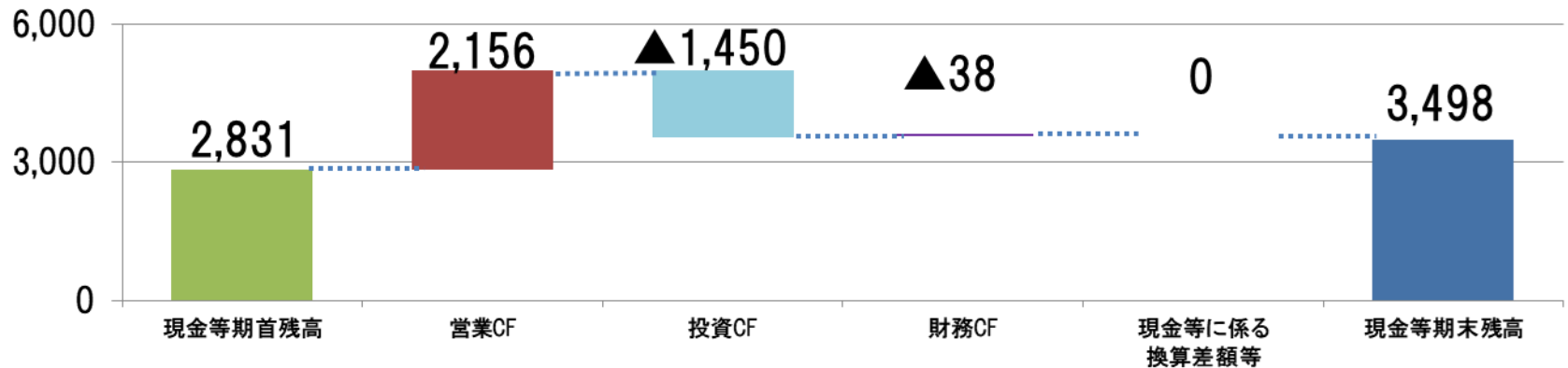
	2024年2月期2Q	2025年2月期2Q	増減
直営新規出店・ 既存店リニューアル等	1,020	1,039	(※) 18
情報システム関連投資	13	83	70
合計	1,033	1,122	89

(※)1案件あたりの設備投資金額抑制施策効果も含む



# 連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)	2024年2月期2Q	2025年2月期2Q	増減
営業キャッシュ・フロー	260	2,156	1,896
投資キャッシュ・フロー	▲ 1,057	▲ 1,450	▲ 393
財務キャッシュ・フロー	▲ 139	▲ 38	100
現金・現金同等物換算差額等	71	▲ 0	▲ 71
現金・現金同等物期首残高	3,050	2,831	▲ 218
現金・現金同等物期末残高	2,184	3,498	1,313



## ●営業キャッシュ・フローの内訳●

税金等調整前当期純利益▲36百万円に対して、  
 加算項目は減価償却費495百万円、仕入債務の増加2,634百万円(当中間連結会計年度末日が金融機関の休日のため2,134百万円の期末日満期手形が当中期連結会計年度末日残高に含まれております)  
 減算項目はたな卸資産の増加437百万円、未収入金の増加1,111百万円等

# 2025年2月期の取り組み

## 方針：イオングループとの協業によるお客さま満足の最大化

### 「販路の拡大」

- ・ [出店]利益が出る出店でお客さまの利便性の向上
- ・ [既存店]既存店の改装で利益体質を強化してお客さまの利便性を更に向上

### 「商品・ブランドの差別化」

- ・ [商品]お客さまから支持される商品の追求
- ・ [ブランド]品揃えと発信を確立した新たなライフスタイル提案型ショップへの進化

### 「企業価値の向上」

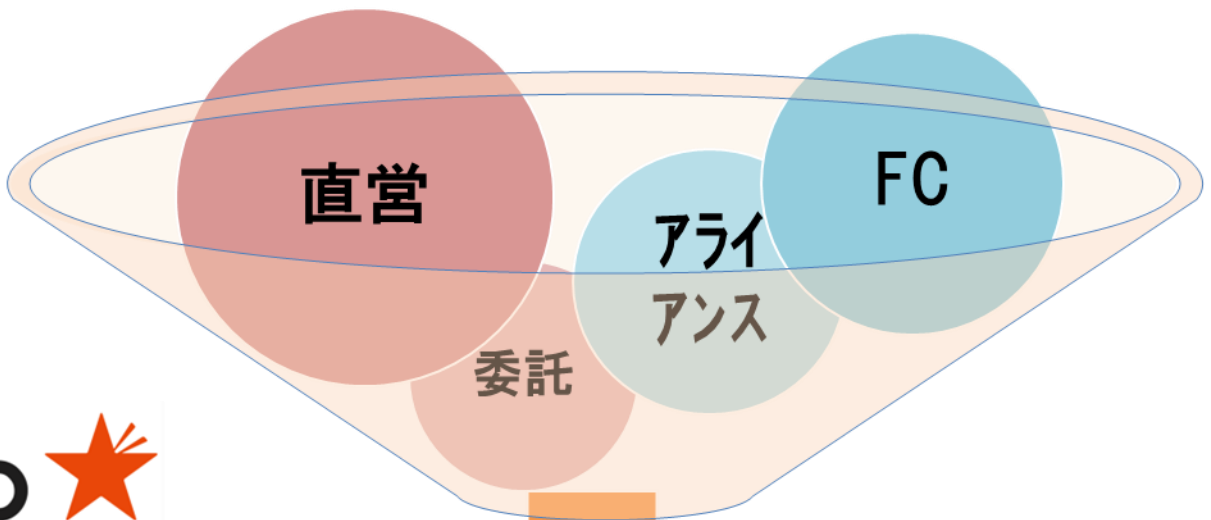
- ・ [成長]イオングループとのシナジーによる成長性の確立
- ・ [利益]デジタルシフトによる生産性の飛躍的な改善

イオングループとのシナジーを最大化＝成長と利益確保の両立

# 2025年2月期の具体的取り組み：I

## 『販路の拡大』

お客さまからの期待を超える店舗づくりの追求と  
マルチフォーマットの活用によるグループ内外のシェア拡大



CanDo★

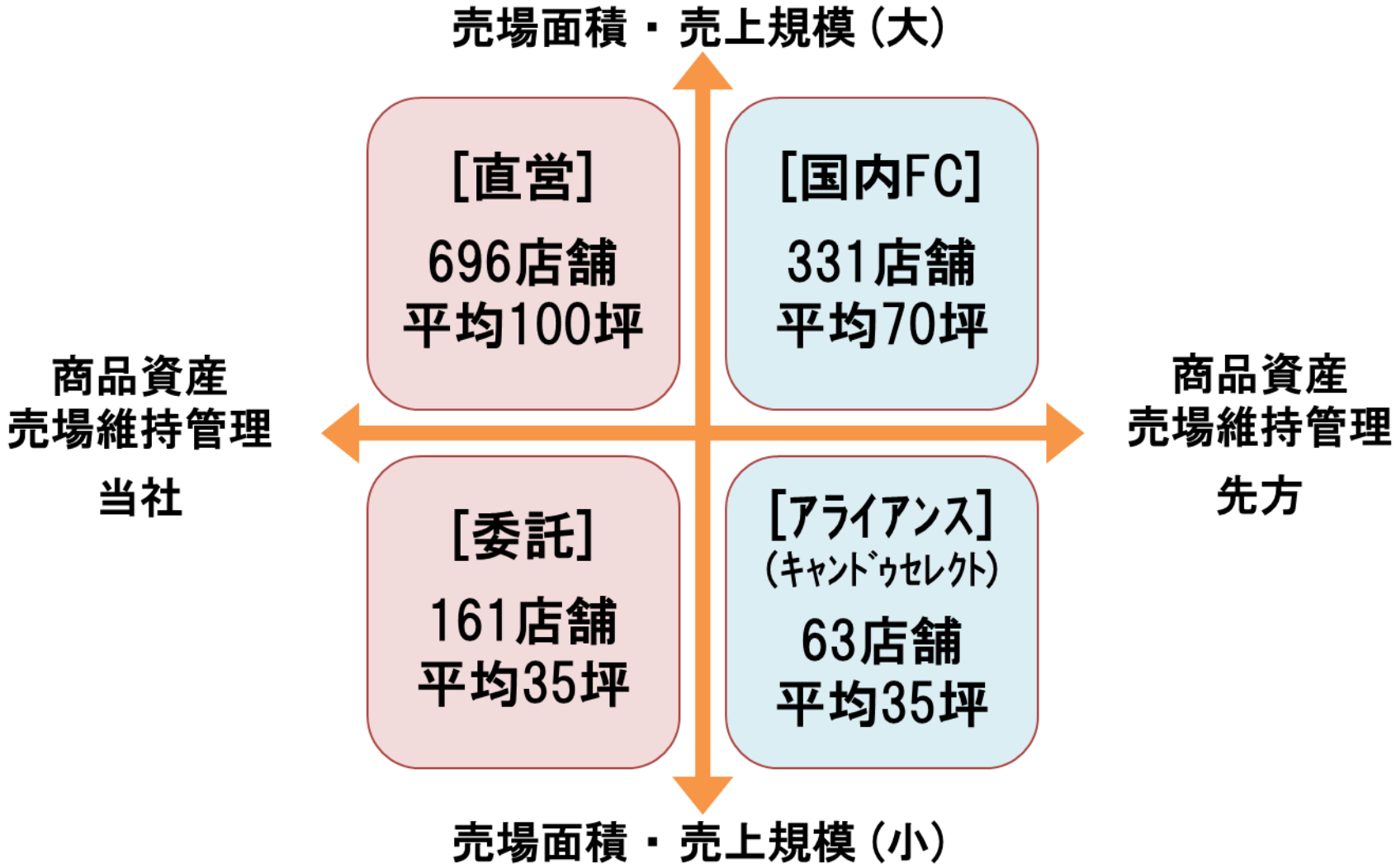
お客さまの期待を超える店舗づくり

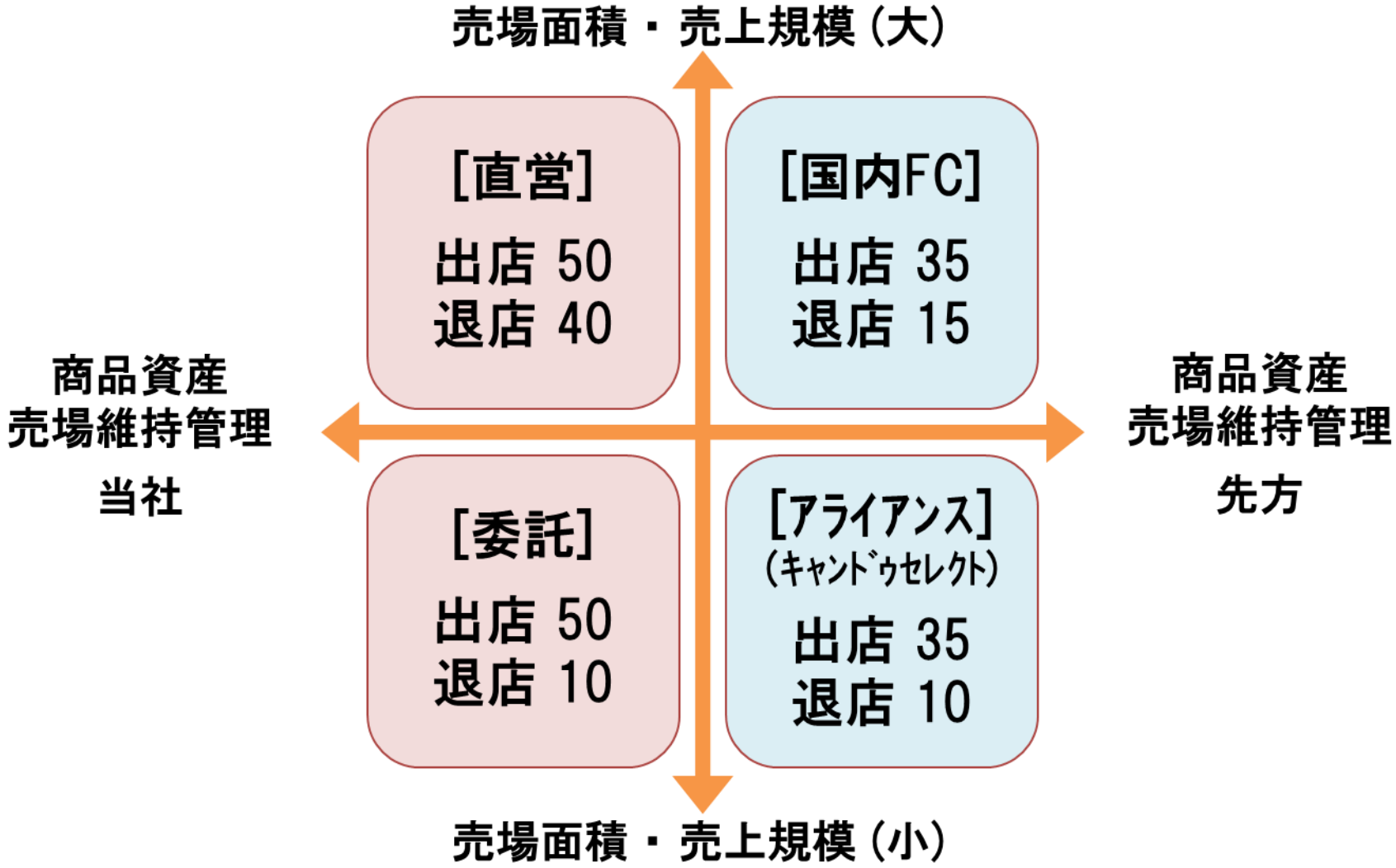


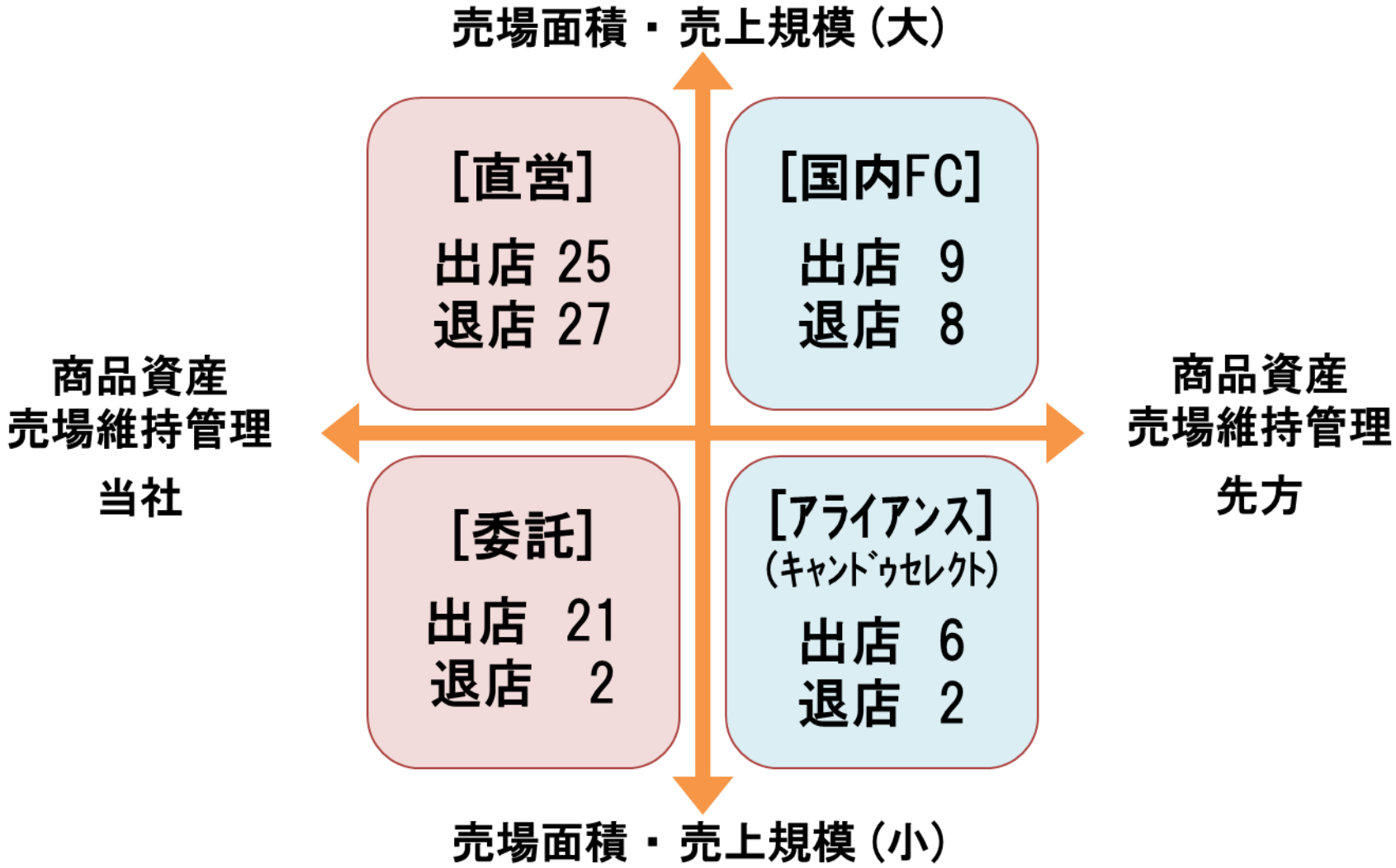
マルチフォーマットの活用



シェア拡大









そよら福井開発店  
(福井県・2024年7月13日オープン・120坪)



# 2025年2月期の具体的取り組み：Ⅱ

## 『商品・ブランドの差別化』

## 3つの商品開発方針を掲げ、差別化戦略を推進

- ① 強化ターゲットに向けた商品開発
- ② 大型店に対応する品揃え
- ③ 生活防衛のための100円消耗品

### ① 強化ターゲットに向けた商品開発

#### (1) Z世代に向けた商品開発

UMAアクセサリー



ワッペンワーク



ワンステップジェルネイル



和花ヘアアクセ



## (2) 子育て世代に向けた商品開発

にぎにぎチーズネズミ



ビーチグッズ



子供靴下



木製おままごとグッズ



## (3) 団塊世代に向けた商品開発

血圧記録手帳



マルチホルダー



らく飲み



指型歯みがきシート



## ② 大型店に対応する品揃え

仏花



THE DOG



ガーデンライト



椅子にもなるボックス



## ③ 生活防衛のための100円消耗品

ノンアル除菌ウェット



携帯できるトイレ



環境に優しいプレート



つまようじ 約850本



・フォロワー数は、2024年8月現在、81万人超

・国内企業ランキングは、84位(対象10,000社超)

・お洒落な画像による商品活用シーン提案

Thanks! 800k



くまのプーさん



エンジェルブルー  
& デイジーラバー



シーリングワックス



サンリオフェイス  
マスコット



- ・イメージ訴求のInstagramに対し、情報量を優先するX(旧Twitter)ですみ分け
- ・メディアで取り上げられた商品もリツイート
- ・推し活アイテムなどX(旧Twitter)ユーザーに親和性の高い商品を紹介

推しぬい



ゲゲゲの鬼太郎



ビール&えだまめ



ティム・バートン ナイトメアー・  
ビフォア・クリスマス



## 店舗運営統一による生産性の向上

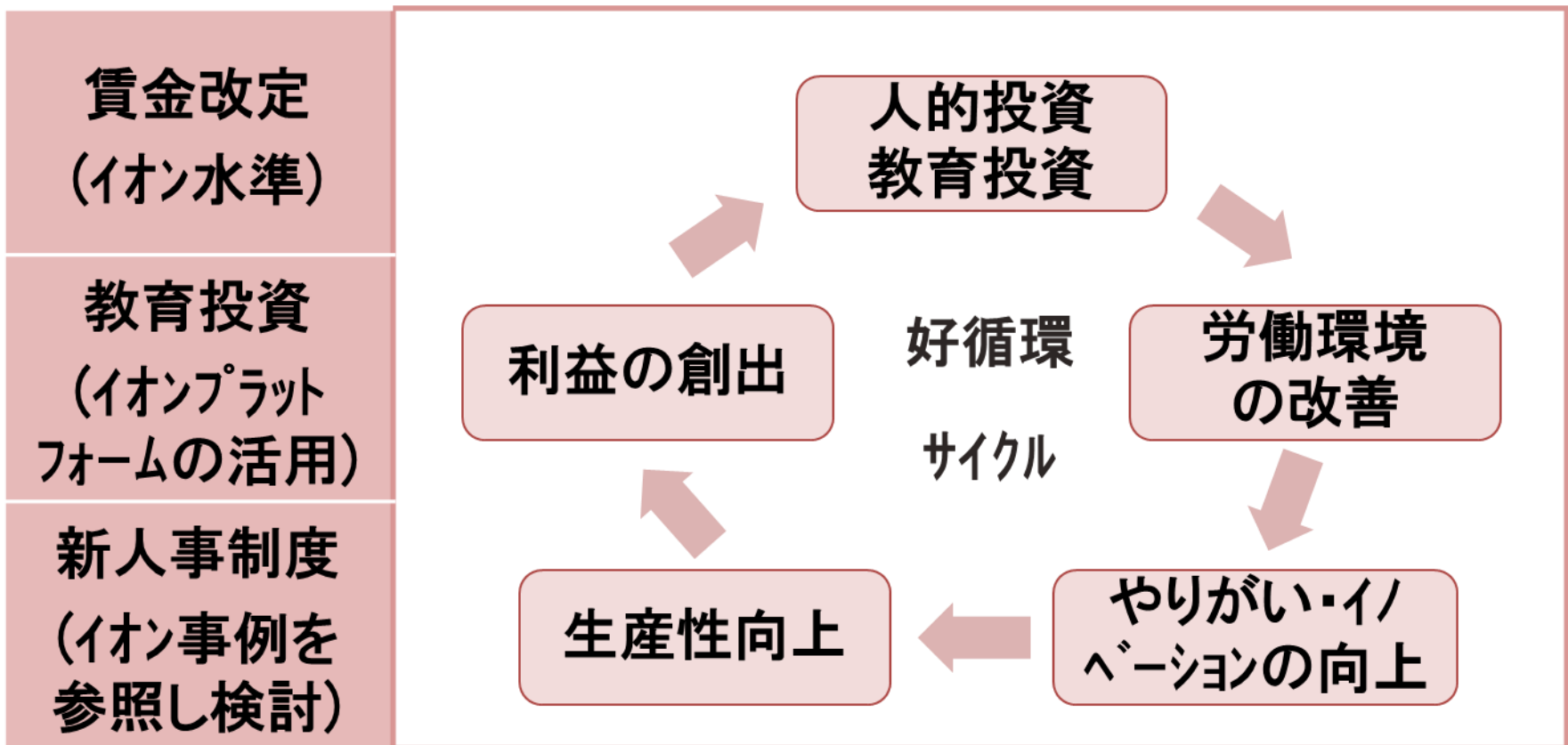
品揃え	本部主導による 確実性の高い品揃えの更なる推進
販促	「発見」・「発信」のコンセプトを可視化し お客さまへご提供
オペレーション	商品を安定してお客さまにお届けする 日々のオペレーション改善



# 2025年2月期の具体的取り組み:Ⅲ

## 『企業価値の向上』

生産性を高めるための人的資本への先行投資



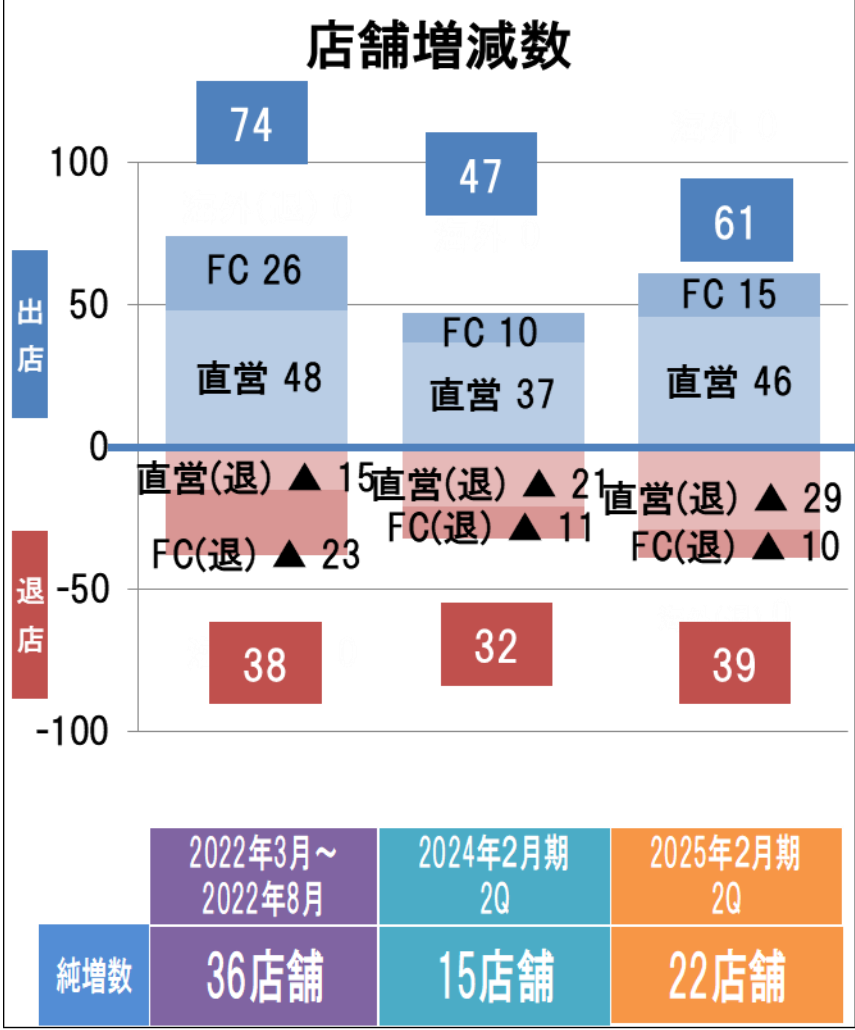
# Appendix

## 各期同月累計(3-8月)推移について

(単位:百万円、%)

	2022年3月～ 2022年8月		2024年2月期 2Q		2025年2月期 2Q		前年 同月 (3～8月) 比
	金額	率	金額	率	金額	率	
売上高	36,840	100.0	39,536	100.0	41,769	100.0	105.6
売上総利益	13,943	37.8	14,573	36.9	15,723	37.6	107.9
営業利益	199	0.5	212	0.5	418	1.0	197.3
経常利益	239	0.6	239	0.6	149	0.4	62.3
親会社株主に帰属 する純利益	▲ 51	▲ 0.1	▲ 159	▲ 0.4	▲ 243	▲ 0.6	-
一株当たり 純利益	▲ 3.22 円		▲ 9.98 円		▲ 15.20 円		-
会計期末 店舗数	1,233 店舗		1,260 店舗		1,320 店舗		60店舗

(※) 売場のコーナーに展開することが多かったため、開示店舗数に含めていなかったキャンドゥセレクト計40店舗を2024年3月末より店舗数に含めております。



### 出店・リニューアル

- 新規出店: 61店舗 (計画: 170/通期)  
直営46店舗、FC15店舗  
※概ね計画水準の実績
- 直営リニューアル: 17店舗 (計画: 20/通期)  
※計画水準を大きく上回る実績

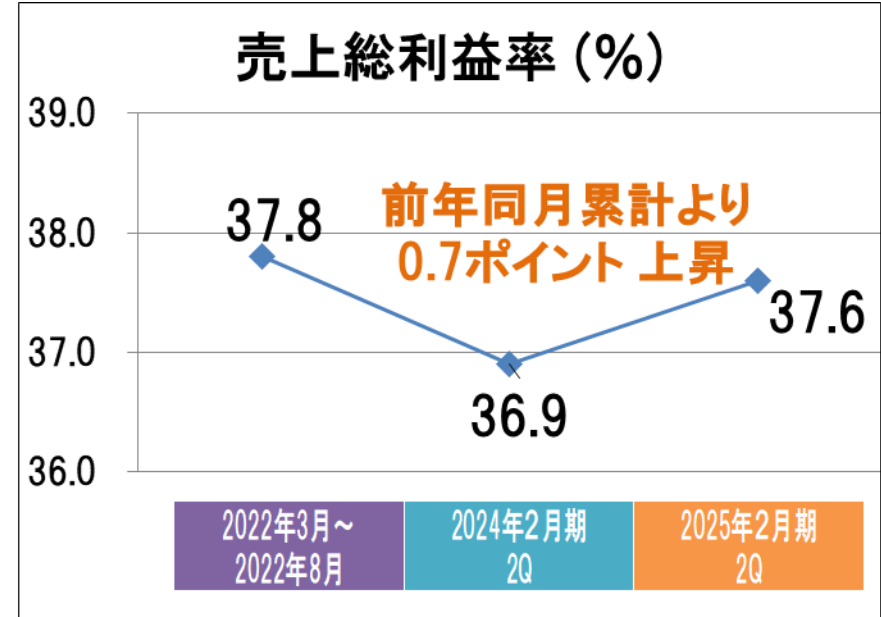
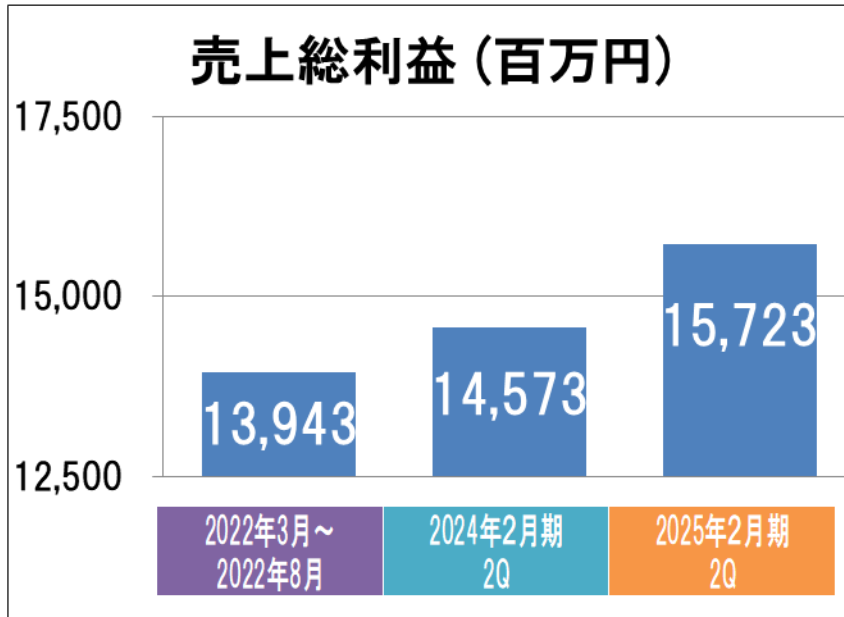
### 退店

- 39店舗 (計画: 75/通期)  
直営29店舗、FC10店舗  
※概ね計画水準の実績

**1,320店舗**

【増減】直営 +17店舗、FC +5店舗、海外FC ±0店舗

# 売上総利益の内訳(各期3～8月累計推移)



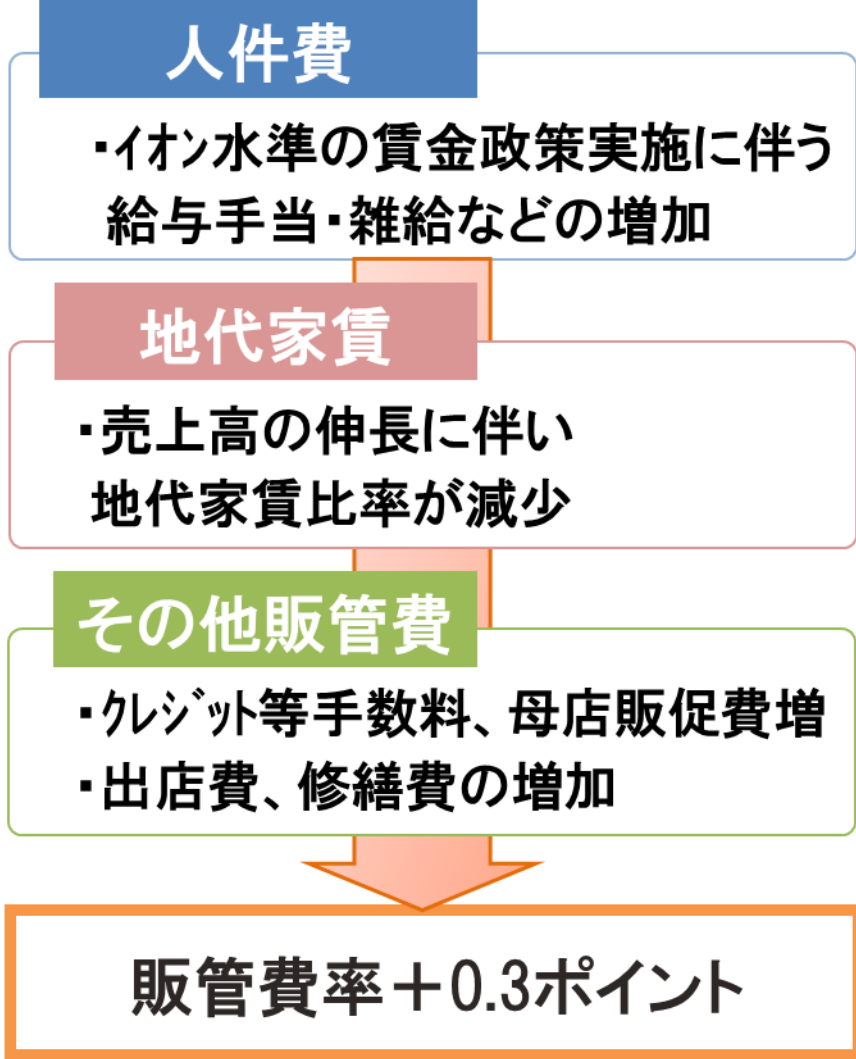
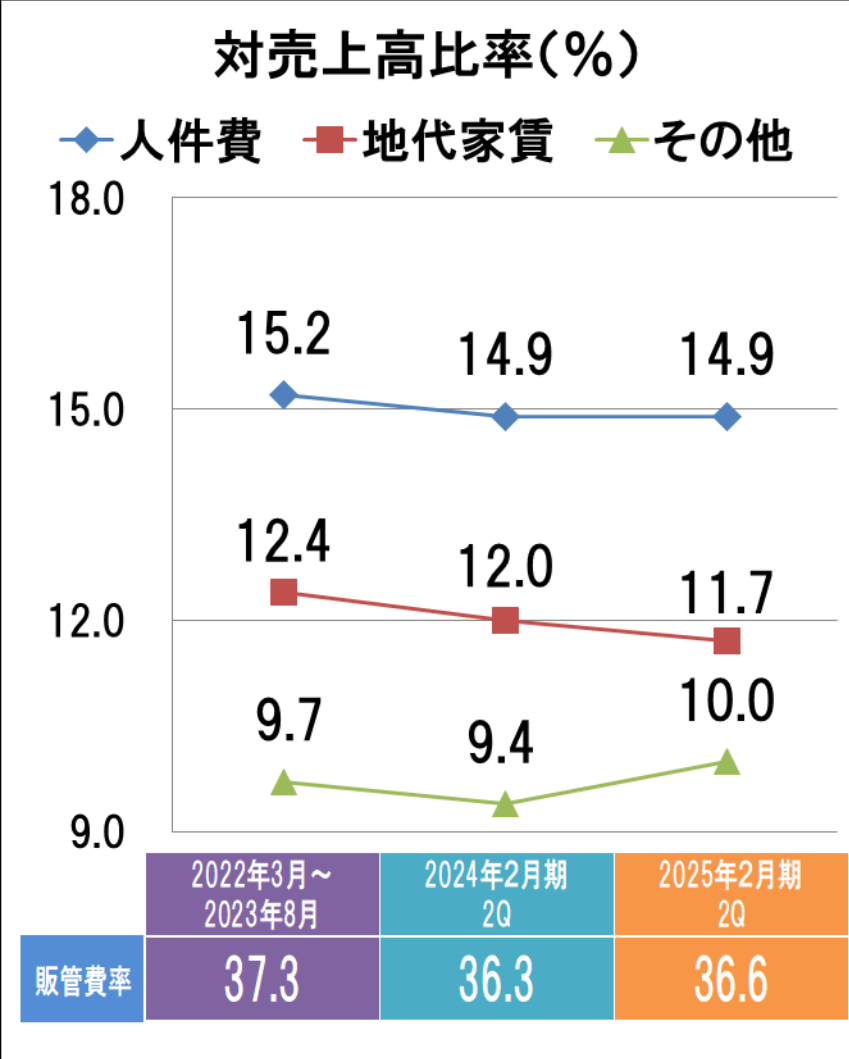
## 売上総利益の変動

- 100円雑貨の売上高を維持
- 他価格帯商品の売上比率増加

## 売上総利益率の変動

- 原材料の高騰や為替の影響
- 100円商品の原価維持への取り組み
- 付加価値を見直し、他価格帯へ移行

販管費の内訳(各期3~8月累計推移)



## 【 ご注意 】

本資料に掲載されている株式会社キャンドウの現在の計画、見通し、戦略、認識、評価、想定等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から株式会社キャンドウの経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、様々な重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみにより全面的に依拠することはお控えいただくようお願いいたします。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願い申し上げます。